職業実践専門課程等の基本情報について

学校名			年月日	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	長名	Ŧ	168-0063	所在地			
東放学園専門	学校	昭和54年	4月1日	堀内	和人	(住所)	東京都杉並区和泉2 [.] 03-3323-8531				
設置者名		設立認可			養者名		168-0063	所在地			
学校法人東放	• –	昭和54年	4月1日		泰 晃	(電話)	東京都杉並区和泉2 03-3323-8531				
<u>分野</u> 工業		認定課程名 二業専門課程	昭	<u>認定学科</u> 明クリエイテ			士認定年度 30(2018)年度	高度専門士認定	E年度 職		門課程認定年 <i>[</i> (2019)年度
学科の目的	テレビ、コン ナーやチー	ンサート、演劇等の	照明スタッフを	を育成する学	科。ライティン:	グプラン・セッ	ッティング・オペレート等 『という三つの教育方』	・、照明に関する知識 計を定め、メディアとエ	サスキルを習得 シターテインメン	骨する実践	教育、ビジネスマ
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)		者技能認定、日本語	ミワープロ検定	È							
修業年限	昼夜	全課程の修了に	込要な総授業□ 単位数	時数又は総	講事	亁	演習	実習	実験		実技
2 年	昼間	※単位時間、単位い かに記入		単位時間単位		単位時間単位	480 単位時間 - 単位	1,065 単位時間 - 単位	単位 - 単位	立時間	単位時間 - 単位
生徒総定員		実員(A) 留常	生数(生徒実員		留学生割食		中退率				
154 人	107		18	8 人	0	%	7 %				
	■卒業者 ■対職希	数 (C) ·望者数 (D)	:	52 49		<u> </u>					
	■就職者	数(E)	:	48		人					
	■地元就 ■就職率	t職者数(F) (E/D)		47 98		人					
		に占める地元就職	者の割合 (F/	E)							
	■卒業者	に占める就職者の	割合 (E/C)	98		%					
1	■進学者			92 0		<u>%</u>					
就職等の状況	■進子有			<u> </u>							
	アルバイ	ト2名、その他2名									
	7 707 (1)	1241, (0)1624									
	(令和		業者に関する含	令和6年5月	1日時点の情報	長)					
	■土 よ 別 (令和6年度	職先、業界等 『卒業生》									
					. #L. #D.	/(株) (株)ワ、	ダーライト、(株)TRFF	Digital Studio、(株)テ	レテック、㈱オ	フィス・ドゥ	ーイン、四季㈱
		イティング、㈱共ご	て、(株)TBSアク	フト、ライティン	フクロック・フュ	- (11y \ (11y) -	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
	ほか			た、ライティン	ンクロック・ソン	7 (14) C (14) 7 2					
第三者による	ほか ■民間の	イティング、㈱共立 評価機関等から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第三者評価:	フト、 ライティン	J0 E90 () 3	7 (14) X (14) X X	無				
第三者による 学校評価	ほか ■民間の ※有の場合	評価機関等から	第三者評価:	フト、 ライティン		THAY THAY 7.2	無 評	価結果を掲載した			
学校評価	ほか ■民間の ※有の場合	評価機関等から	第三者評価:	7ト、ライティン	受審年月:	Thay thay 22	無 評	価結果を掲載した ームページURL			
	ほか ■民間の ※有の場合	評価機関等から	有三者評価 : で任意記載			Tray Cray 2 2	無 評				
学校評価 当該学科の	ほか ■民間の ※有の場合	評価機関等から な、例えば以下につい 評価団体:	有三者評価 : で任意記載			- (14) - (14) - (14)	無 評				
学校評価 当該学科の ホームページ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 位時間による算定	将三者評価: で任意記載 :.jp/toho/ligh			100 N	無 評				
学校評価 当該学科の ホームページ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数	第三者評価: で任意記載 :.jp/toho/ligh	ting/	受審年月:		無 評		1,965 単位		
学校評価 当該学科の ホームページ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企	R三者評価: で任意記載 :jp/toho/ligh	ting/ レた実験・実	受審年月: 習・実技の授		無 評		495 単位	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	京三者評価: で任意記載 :.jp/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し	ting/ レた実験・実	受審年月: 習・実技の授		無 評		495 単位 210 単位	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し 修授業時数	ting/ レた実験・実 した演習の授	受審年月: 習・実技の授 業時数	以業時数	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位	位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業	ting/ した実験・実 した演習の授 等と連携した。	受審年月: 習・実技の授 業時数 こ必修の実験	楽時数・実習・実	無 評		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から? ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh :.jp/toho/ligh :業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業 うち企業	ting/ - た実験・実 - た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 と必修の実験 と必修の演習	・実習・実 の授業時数	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から? ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh :.jp/toho/ligh :業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業 うち企業	ting/ - た実験・実 - た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授 業時数 こ必修の実験	・実習・実 の授業時数	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況でいる。	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から; à、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 (うち	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh :.jp/toho/ligh :業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業 うち企業	ting/ - た実験・実 - た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 と必修の実験 と必修の演習	・実習・実 の授業時数	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した。	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から? ネ、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh :.jp/toho/ligh :業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業 うち企業	ting/ - た実験・実 - た演習の授 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授業時数 と必修の実験 と必修の演習	・実習・実 の授業時数	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から; ネ 例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 (うち	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業 うち企業 企業等と連携	ting/	受審年月: 習・実技の授業時数 と必修の実験 と必修の演習	・実習・実 の授業時数) 授業時数)	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況への実施状れか	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から; ネ 例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うちを (うち 位数による算定) 総単位数 うち金 うち金	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し 修授業時数 うち企業 うち企業 企業等と連携	ting/ した実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携したインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 と必修の演習 ーンシップの	・実習・実 の授業時数) 授業時数)	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携しした況への実施状れか	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 注、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 (うち 位数による算定) 総単位数 うち企 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 :.jp/toho/ligh :.jp/toho/ligh :業等と連携し 業等と連携し を提業時数 うち企業 うち企業 企業等と連携し	ting/ した実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携したインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 と必修の演習 ーンシップの	・実習・実 の授業時数) 授業時数)	無 評本		495 単位 210 単位 450 単位 90 単位 0 単位 - 単化 - 単化	立時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携しした況 を表習等の実施状れか	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 注、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 (うち 位数による算定) 総単位数 うち企 うち企 うち企	第三者評価: て任意記載 Lip/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し うち企業 企業等と連携し 業等と連携し 業等と連携し 変換 変換 変換 変換 変換 変換 変換 変換 変換 変	ting/ した実験・実 た演習の授 等と連携した きしたインタ した実験・実 した演習の単	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 と必修の演習 ーンシップの	・実習・実 の授業時数) 授業時数)	接の授業時数		495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位	立時間 白斑 中間 白斑 中間 日本	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況でいる。	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から2 注、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 (うち 位数による算定) 総単位数 うち企 うち企 うち企	第三者評価: T任意記載 J.jp/toho/ligh 業等と連携し 業等と連携し うち企業 企業等と連携し 業等と連携し また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また	ting/ た実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携したインタ ・ た演習の単 ・ 等と連携したインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 ための演習 ーンシップの 習・実技の単位数	・実習・実 の授業時数) 授業時数) ・実習・実	接の授業時数		495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	立時間 立 立時間 立 立時間間 立 立 時時間 立 立 立 時間 立 立 立 は 立 立 立 は 立 立 立 は 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立 立	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況でいる。	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から; 注、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うちを (うち 位数による算定) 総単位数 うち企 うちを うちを うちを うちを うちを うちを	第三者評価: T任意記載 J.jp/toho/ligh 業等と連携し 素等と連携し うち企業 変を連携し 業等と連携し うち企業 業等と連携し 変換 変換 変換 また。 変換 変換 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 ま	ting/ た実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携したインタ ・ た演習の単 等と連携した を 等と連携した を きしたインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 ーンシップの 習・実技の単位数	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の授業時数)	接の授業時数		495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単仁 - 単仁 - 単化 - 単化 - 単化 - 単化	立時間 立 立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携した況で等の実施状況 (A、Bいずれか	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から; 注、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うちを (うち 位数による算定) 総単位数 うち企 うちを うちを うちを うちを うちを うちを	第三者評価: T任意記載 J.jp/toho/ligh 業等と連携し 素等と連携し うち企業 変を連携し 業等と連携し うち企業 業等と連携し 変換 変換 変換 また。 変換 変換 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 ま	ting/ た実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携したインタ ・ た演習の単 等と連携した を 等と連携した を きしたインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の実験 ーンシップの 習・実技の単位数 た必修の実験 にと必修の実験	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の授業時数)	接の授業時数		495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 -	立時間 立 立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携した況でする。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から? 評価機関等から? 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち企 うち	第三者評価: T任意記載 Jip/toho/ligh 業等と連携し 参考を連携し うち企業 企業等と連携し 変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変換を変	ting/ た実験・実 た演習の授 等と連携した 等と連携した ましたインタ ・た実験・実 した演習の単 等と連携した 等と連携した ましたインタ	受審年月: 習・実技の授業時数 と必修の実験 ニーンシップの 習・実技の単位 と必修の実験 では数 といめ修の実験である。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の単位数)	接の授業時数		495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 -	立時間 立 立時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から; 注、例えば以下につい 評価団体: www.tohogakuen.ac 立時間による算定 総授業時数 うち企 うちを (うち 位数による算定) 総単位数 うち企 うちを うちを うちを うちを うちを うちを	第三者評価: T 任意記載 T 任意記載 T 任意記載 T 任意記載 T 任意記載	ting/ た実験・実 ・実験・実 ・実験・実 ・等と連携した ・大実験・実 ・大実験・実 ・大大実験・実 ・大大実験・実 ・大大大大大大大大大大	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の担位数 ・実習・実 の単位数)	接の授業時数	-AX-VUR L	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 -	立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立時間 立 時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携した況で等の実施状況 (A、Bいずれか	ほか ■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から	第三者語載 「ETT CETT CETT CETT CETT CETT CETT CETT	ting/ た実験・実 ・実験・実 ・実験・実 ・等と連携した ・大実験・実 ・大実験・実 ・大大実験・実 ・大大実験・実 ・大大大大大大大大大大	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実数 の授業時数) ・の単位数 ・の単位数) (専修学	接の授業時数	ームページUR L 第1号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 -	立時間 立 立時間 立 立 時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL **** *** *** *** *** *** *** *** ***	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から	第三者評価: T 任意記載 T 表 表 と 連連 T 表 表 と 連連 T 表 表 と 連連 T 表 表 と で 本 業 等	ting/ た実験・実 ・実験・実 ・実験・実 ・等と連携した ・大実験・実 ・大実験・実 ・大大実験・実 ・大大実験・実 ・大大大大大大大大大大	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実 の授業時数) が受験を対しています。 ・実習・実 の単位数) (専修学社	無 詳小 技の授業時数 技の単位数	第1号) 第2号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 -		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携施大況 に記入)	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から	第三者評価: T 任意記載 T 作 表 表 と 連連数 本業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等等とと連連数 企業等等とと連連数 企業等等とと連連数 「	ting/ た実験・実授・実験・実授・実験・実機した。 等と連携したインターとを実験での単した大演でのよう。 ないます。 ないますが、まずいます。 たったでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実 の授業時数) ・実習・実数 ・変量を数 ・の単位数) (専修学年 (専修学年	無 技の授業時数 技の単位数	第1号) 第2号) 第3号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 世位 - 世位 - 上 世位 - 上 世位 - 上 世位 - 上 世位 - 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上		
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等と連携しした況(A、B)入(C)記入)	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から	第三者評価: T 任意記載 T 作 表 表 と 連連数 本業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等等とと連連数 企業等等とと連連数 企業等等とと連連数 「	ting/ た実験・実授・実験・実授・実験・実機した。 等と連携したインターとを実験での単した大演でのよう。 ないます。 ないますが、まずいます。 たったでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の世位数 ・実間・実 の単位数) (専修学 (専修学学 (専修学学	無 群ホ 対の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 上 - 単位 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上	obella control obella	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携施大況 に記入)	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から	第三者評価: T 任意記載 T 作 表 表 と 連連数 本業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連表 「	ting/ た実験・実授・実験・実授・実験・実機した。 等と連携したインターとを実験での単した大演でのよう。 ないます。 ないますが、まずいます。 たったでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の世位数 ・実間・実 の単位数) (専修学 (専修学学 (専修学学	無 技の授業時数 技の単位数	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 単位 単位 	obella control obella	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携施大況 に記入)	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から	第三者評価: T 任意記載 T 作 表 表 と 連連数 本業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連数 企業等をと連連表 「	ting/ た実験・実授・実験・実授・実験・実機した。 等と連携したインターとを実験での単した大演でのよう。 ないます。 ないますが、まずいます。 たったでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	受審年月: 習・実技の授業時数 た必修の演習の では数 を必修の演習の と必修の演習の では数 をないないでは、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時では、当時	・実習・実 の授業時数) ・実習・実 の世位数 ・実間・実 の単位数) (専修学 (専修学学 (専修学学	無 群ホ 対の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 上 - 単位 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上 - 上	obella control obella	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等を連携施大況 に記入)	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から。	第三者評価: T 任意記載 「	ting/ た実験・実授・実験・実授・実験・実達携したインタ・ た実験の表した。 「等と連携したインタ・ ときまります。 まましたインタ・ できません。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまする。 ないまするななななななななななななななななななななななななななななななななななな	受害年月: 習・実技の授業を必修のの演習の でも必修のの演習の でも必修のの演習の でも必修のの演習の でもない。 できない。 できないは、 できないはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	・実習・実数 ・実者・実数 ・実数・実数 ・実数・実数 ・実数・実数 ・実性の数・・実体を学 ・事を学学・では、「事を学	無 技の授業時数 技の単位数	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 単位 単位 	obella control obella	
学校評価 当該学科のホームグージ URL ・業等等と連携施大況 (A、Bいずれ に記入)	ほか ■民間の ※有の場合 https://w (A:単何	評価機関等から。	第三者評価: 「任意記載 「共享 (ting/ た実験・実授・実験・実授・実験・等等とを連携した ち実験でのは、 ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする な	受審年月: 習来時数 ・実技の ・実技の を必必シシップ の で ・変素 を必必シシップ の で を必必シシップ の で を必必シップ の の で を ない の の の の の の の の の の の の の	・実習・実数 ・実者・実数 ・実数・実数 ・実数・実数 ・実数・実数 ・実性の数・・実体を学 ・事を学学・では、「事を学	無 群ホ 対の授業時数 技の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	495 単位 210 単位 450 単位 0 単位 0 単位 - 単位 単位 単位 		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

高度な実践力や威力の発揮に欠かせない人間性や自立心を育み、環境や技術等の変化が著しい当該業界において順応力を持った人材を輩出するために、

- ①学生が享受すべき知識や技術について、連携企業との日常的なコミュニケーション・意見交換を通じて、教育課程の編成や教育環境の構築に関して、積極的に反映させる事。
- ②就職先ともなり得る連携企業に所属する社員を講師として招聘し、実習・演習授業において実利性・専門性が高いカリ キュラムを構成する事。

以上を、企業等との組織的な連携の基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長を委員長とし、以下、副校長、教務教育部長の他、就職指導や就職先企業の交渉等を主な業務とする学務管理部業務主任や学科運営を主たる業務とする学科主任を学内の委員とし、学科が委嘱する業界企業の方と業界関連団体に所属し、実践の環境を熟知し、あるいはそれらを俯瞰し統括する立場の方を学外の委員として構成している。

学外委員からは当該業界の動向や変化等について、学内委員からは学事や学生の動向等について意見交換を行い、積極的な情報共有を図る。

また、カリキュラムのあり方や授業の構成について、同業界において求める人材像や育むべき人間性や実践力について等、これらの具体的要件に関しても意見交換や議論を行い、教育課程決定の基とする場として位置付けている。

当委員会の内容は、学内委員により学科毎に実施されているカリキュラム会議で発議がなされ、学科担当職員との意見交換を経て、重要度の高い項目等から教育課程の編成に取り入れられる。反映された項目は、次回以降の同委員会でフィードバックがなされ、今後の会議運営に役立てる事とする。以上を教育課程の編成に関する意思決定の過程としている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
藤延 直道	協同組合 日本映像事業協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
森 俊文	一般社団法人 日本ポストプロダクション協顧問	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
大滝 功	有限会社フラッグス	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
小杉 文人	株式会社 ビデオスタッフ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
村山 雄亮	株式会社WING-T	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
市川 一弘	株式会社共立取締役 管理本部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
齋藤 明彦	株式会社アート・クリエイティブ・パートナーズ	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
堀内 和人	東放学園専門学校 校長 教育課程編成委員会委員長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
笹原 恭	東放学園専門学校 教務教育部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
木戸 司	東放学園専門学校 学務管理部長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
副島 照礼	東放学園専門学校 教務教育部 照明クリエイティブ科 学科主任日	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月24日 14:00~16:00 第2回 令和7年3月28日 14:00~16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

一回目の委員会で、企業や業界団体の学外委員から業界の動向や学校に求める人材育成像(知識・技能)、教育課程編成の助言等を聴取した上で学内委員との協議を行い、学科担当教員で構成するカリキュラム会議で教育課程の編成案を作成し、二回目の委員会で、学外委員への報告と協議を行い、次年度以降の教育課程の編成や授業内容の改善等に反映している。

【具体的な意見と活用状況】

・昨年度に引き続き「第二種電気工事士」の資格取得を目指す講座を開講したことを報告。就職活動の際に有利になる資格のため、継続して実施することが望ましいとのご意見をいただいた。

・元来より実施していた「足場の組立て等特別教育」、「フルハーネス型墜落制止用器具特別教育」の他に、2024年2月1日 より施行された「テールゲートリフター特別教育」の義務化に伴い、同講習も実施したことを報告をした。こちらも、入社前に 受講を済ませておくと、入社後に取得のために日を割かなくてよいため、変わらず就職前に取得しておくのが望ましいとの ご意見をいただいた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①テレビのみコンサートのみと活躍の場を限定しない教育、繰り返しの実習で段階的に習熟度を高める教育等を重点項目としている本学科において、これらの目的を達成するため、テレビ・コンサート・舞台演劇等のジャンルを担当業務としており、かつ、継続的に学外講師として担当いただける企業、学生の就業先となり得る連携すべき企業を選択する事。
- ②「現場が必要とする人材」を最も効果的に育む事ができる、現場の一線で活躍している企業や外部講師から助言をいただき、それを積極的に反映させていく事。
- ③実習・演習授業において、授業回毎の具体的な内容や、学生の習熟度を鑑みながらの教育の程度・水準等について、 学内の学科担当職員と議論や意見交換を図る等、同企業との連携を図りながら授業を担当していただく事。 以上3項目を、企業等との連携に関する基本方針としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科1年次では、コンサート・舞台系照明技術とテレビ照明技術の2分野に関して、技術の基礎や実地トレーニングを理解・体得する実習・演習等で、各職種に実際に携わっている企業と連携し授業を実施している。準備から本番における照明演出に関わる知識や技術の理解の達成度や、各作業の忠実度や意欲等を含めた学修成果の評価を実施していただいている。

2年次では、学生の志望職種への理解度や実践力を高めるために、学外のコンサートホールでの実践やテレビ番組の模擬制作等を通して、「照明の仕事」全般に関わる総合的な実習も実施。1年次と同様に照明業界に従事している企業等と連携しながら授業も担当いただき、授業ごとに設定する目標到達度を勘案しながら学修成果の評価を実施していただいている。

また、連携企業や外部講師を招聘し、学科担当職員全員・就職担当職員との懇談の場である講師会を実施。連携企業や講師との意見交換と情報共有を図り、各担当授業のシラバスや具体的な実習・演習内容を検討したり確認したりしながら、教育課程の充実と教育内容・学校職員の質向上に努めている。

上記会議体のみならず、連携企業や協力いただいている外部講師とは、定常的に当該現場の動向や変化、学生の資質等の情報を交換しながら、細やかな話し合い・コミュニケーションを通して、上記主旨同様の効果を図るための対策を常に施している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
演劇照明演習	の講師が全ての授業 を主担当	舞台上の俳優・演技と密接に絡み合う舞台照明のプランとそれに関わる作業について、演出的観点も含めながら体得します。	(株)eimatsumoto
テレビ照明基礎	1. 【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	テレビスタジオで使用される機材や基本的なライティング方法等を、「触って慣れる」をコンセプトに体得します。	株式会社フジ・メディア・テクノロジー
ロケーション照明	1. 【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	他と比較して様々な制約が伴う屋外のロケーションにおける、灯りの作り方や効率的な照明 方法を体得します。	株式会社フジ・メディア・テクノロジー
コンソール プログラミ ング I	1. 【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	ムービングライト等、PCによってコントロールする照明機材を使用して、基本的な動作や操作方法を学びます。	ワイズカンパニ一株式会社
コンソール プログラミ ング Ⅱ		ムービングライト等をコントロールするための専用アプリケーションの操作方法や具体的で実践的なプログラミング方法を学びます。	ワイズカンパニ一株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校では、教員研修規程として教員研修の目的、方針、教員の責務、報告などの事項を定めており、教員の業務経歴や能 力、担当する授業科目等に応じ、専攻分野の実務に関する知識、技術、技能並びに、学生に対する指導力等、教員の能 力及び資質等の修得・向上を図るため、適宜、企業等と連携した研修を行うことを基本方針としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

日本照明家協会新人講座 連携企業等:全国舞台テレビ照明事業協同組合 研修名:

期間: 令和6年4月7日 対象: 照明クリエイティブ科 教員

舞台・テレビジョン照明の基礎講習及び実地研修を行い、関連する授業やカリキュラムの開発に役立てる 内容

研修名: 全国照明技術者会議2025

期間: 令和7年2月13日~14日 対象: 照明クリエイティブ科 教員

連携企業等: 公益社団法人日本照明家協会

全国の舞台・TVの照明技師が集い、最新技術や機材の情報収集やセミナー聴講を通して、照明会社が

内容 求める人材採用の動向を探るとともに実習授業での学生指導に活かす

②指導力の修得・向上のための研修等

ICT活用力向上 連携企業等: 東京都私学財団 研修名:

期間: 令和6年8月14日 対象: 東放学園 教員

学生が使いこなせるようになるために、最新事例などをもとにICT活用のヒントを得ることで、教員のICT活 内容

用力の向上を目指す

専門学校向け 広報Webセミナー 連携企業等:株式会社進研アド 研修名:

期間: 令和6年8月27日 対象: 東放学園 教員

高校現場における進路研究の最新動向や、大学志向が高まる中での効果的な広報事例を基に、学生募 内容

集広報の方向性を検討する

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本照明家協会新人講座 連携企業等:全国舞台テレビ照明事業協同組合

期間: 令和7年4月6日 対象: 照明クリエイティブ科 教員

舞台・テレビジョン照明の基礎講習及び実地研修を行い、関連する授業やカリキュラムの開発に役立てる 内容

連携企業等:一般社団法人 日本能率協会 研修名: ProLight&Visual2026

令和8年2月18日~20日 期間: 対象: 照明クリエイティブ科 教員

最新LED機材や調光操作卓等の動向を正しく理解し、将来を見据えた機材設備等の導入に役立て、的確

内容 な実習環境を整える

②指導力の修得・向上のための研修等

AO入試登録開始直前!押さえておきたいSNSテクニック 連携企業等: 東京都専修学校各種学校協会 研修名:

期間: 令和7年5月15日 対象: 東放学園 教員

内容 専門学校のAO入試登録開始時期に向けて、リーチを高めるSNSの運用テクニックについて学ぶ

ハラスメント防止対策研修 連携企業等:株式会社エデュース 研修名:

令和7年9月17日 期間: 対象: 東放学園 教員

ハラスメントとは何かを理解した上で、学内外でのハラスメントの加害・被害を防ぎ、ハラスメントのない環 内容

境を作る

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- (法人の基本方針)
- ①教育の一層の充実を図り、学校の目的および社会的使命を達成するため、各校における教育活動等の状況について定期的に関係者評価を行い、随時改善を図ることを目的とする。
- ②学園は充実した学校評価制度の構築に努め、各校・各部門はこれを実施する体制を整える。
- ③各校・各部門は、情報公開を念頭に揚げ、より高い基準を設定し関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	使命、行動指針、教育方針、理念、目的、育成人材像
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム
(3)教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備、学外実習・インターンシップ等、防火・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献の取組み、ボランティア活動の取組み
(11)国際交流	00000

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を活用し教育活動および学校運営の質の保証と向上に継続的に努めるための改善措置を随時行っている。委員の意見やアドバイスを尊重し「即対応できること」「時間をかけて取り組むこと」などを検討・判断し可能な限り出来得ることから改善を行っている。(カリキュラムの改革、機材の購入、教員のスキルアップなど)

【具体的な取り組み】クラウド型学園ポータルサイトの活用などICT化を促進。PDCAを繰り返しながら業務の効率化、学園サービスの充実を図り、新たな教育方法・学校運営を施行。社会のニーズや時代に合わせた新たなカリキュラムの検討等。日進月歩で変容していく関連業界の技術や働き方に合わせた授業内容や授業名を委員の意見の元、検討を重ね、実施に向けて準備をしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
岸田 真	桜美林大学 芸術文化群 教授	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	教育・学校運営 に関する有識者
田口 裕基	日本大学 鶴ヶ丘高校 教諭	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	高校教諭
小川 尚人	一般社団法人 日本ポストプロダクション協会		就職先及び関 連業界関係者
葭田 浩和	株式会社 ゼロステーション	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	就職先及び関 連業界関係者
永瀬 ななえ		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・)広報誌等の刊行物・ その他())

URL: https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/

公表時期: 令和7年5月

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

認可された教育機関として、社会への説明責任を果たすとともに、教育の質保証・向上の観点から、学生、保護者、地域住民、関連業界企業等に教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供する。また、同窓会組織や東放学園キャリアサポートセンターと連携を図り、卒業生や企業等から積極的に意見を聴取して、業界のニーズを反映した教育環境の整備や教育課程の編成に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(<u>-) (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	基本理念、使命、行動指針、教育方針、学園概要、沿革、お問い合わせ
(2)各学科等の教育	募集学科・募集定員、照明クリエイティブ科、照明クリエイティブ科カリキュラム一覧、資格取得
(3)教職員	学園概要(校長名、教員数)、※学校公式ブログ
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	部&クラブ活動紹介、機材・設備
(6)学生の生活支援	留学生活支援、学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費、奨学制度・教育ローン、奨学制度(留学生)
(8)学校の財務	情報公開(財務情報)
(9)学校評価	情報公開(自己評価報告書、学校関係者評価報告書)
(10)国際連携の状況	留学生の方へ
(11)その他	00000

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・)広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: URL:https://www.tohogakuen.ac.jp/

公表時期: 令和7年5月

授業科目等の概要

	授業科目等の概要 (工業専門課程 照明クリエイティブ科)																	
		分類				配	授		授	業	方法	場	所	教	員	企		
	必	選	自			当年	業	単	講	演	験	校	校	専	兼	業等		
		択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次	時	位			技実					との		
	修	必修	投択			学期	数	数	義	習	習・由	内	外	任	任	連携		
1		0		音楽概論	コンサートライブ照明に欠かせない、楽譜・楽器・メロディーライン等の楽曲知識全般を学び、 照明デザインとその表現力を高めます。	1 前	30		0		実	0			0			
2		0		業界特別講座	関連業界の一戦で活躍しているスタッフを招聘 し、業界人としてプロフェッショナルとして必要 な心構えを学びます。	1 後	30		0			0		0	0			
3		0		口 空間演出デ ザイン	テレビ番組からコンサートライブ・イベントなど の美術演出の一部として欠かせない、特殊効果・ 電飾技術の手法を学びます。	1 後	30		0			0		0	0			
4		0		コンサート 照明	コンサートホールの照明関連設備や本番までの流 れを理解しながら、コンサート照明に関する基礎 知識を学びます。	1 後	30		0			0			0			
5	0			就職講座I	就職活動の進め方、履歴書作成と面接突破に欠か せない「自己理解」を、自分の言葉で語れる力を 身につけます。	1 前	30		0			0		0				
6	0			就職講座Ⅱ	「就職講座 I 」を基に、履歴書の具体的な記入方法を習得。面接シミュレーションによって実践的な力を身につけます。	1 後	30		0			0		0				
7	0			テレビ照明論	テレビと照明の関連性や歴史を理解しながら、テレビスタジオの照明設備やテレビ照明の仕事を学びます。	1 前	30		0			0			0			
8		0		電気工事士 資格取得対 策講座	第二種電気工事士資格の取得に向け、過去問題からのテストや技能試験に対する実技までを行い、必要な知識を学びます。	1 後	30		0			0		0				
9	0			舞台照明論	舞台照明の実践トレーニングに必要となる、舞台 の仕事や使用する照明機材等の関連基礎知識を学 びます。	1 前	30		0			0			0			
10	0			ライティン グ基礎	電流と電圧の関係や安全な取り扱い方法等、照明 業界で必要となる電気の知識を身につけます。	1 前	30		0			0		0				
11		0		映像制作	照明の仕事に密接に絡み合う撮影や映像製作に関 して、映像構成法や撮影技術等、他の役割を学び ながらチームワークを育みます。	1 前	60			0		0		0				
12		0		CAD実習	照明のスタンパイに欠かせない照明仕込み図を作 成するための、作図専用アプリケーションの使用 法を学びます。	1後	30				0	0		0				
13		0		校外学習I	歌舞伎・演劇・ミュージカル・美術等を鑑賞。光 と演技・演出の関連性を学び、照明そのものへの 見識の幅を広げます。	1 前後	30				0		0	0				
14		0		コンソール プログラミ ング I	ムービングライト等、PCによってコントロールする照明機材を使用して、基本的な動作や操作方法を学びます。	1後	60				0	0			0	0		
15		0		照明システム	仮設で電源線や制御線を用意する照明環境で、そ の作業の効率的な方法やシステムの構築方法を基 礎から学びます。	1 後	60				0	0		0				
16		0		761	学内イベントのスタッフを通して、番組制作における照明関連のスキルアップを図り、他セクションの仕事内容の理解を深めます。	1 前後	30				0	0		0				
17	0			テレビ照明 基礎	テレビスタジオで使用される機材や基本的なライ ティング方法等を、「触って慣れる」をコンセプ トに体得します。	1 前	60				0	0			0	0		
18	0			テレビ照明 実習 I	テレビスタジオでの照明の仕事やドラマや音楽番組のライティングの基礎、テレビカメラを通して の見せ方等を学びます。	1後	60				0	0		0				
19		0		電気工作	照明関連機材を自作したり自分で直せたりできる よう、各種工具や電気計測機器の使用方法を習得 し、知識の幅を広げます。	1後	15				0	0			0	0		
20	0			ビジネスマナー	社会人として不可欠なビジネスマナーやコミュニケーションの重要性を認識し、好感度の高いスキルを体得します。	1 前	30				0	0			0			
21		0		Pinspot実習	ステージ上でアーティストを照らす白い光、ピン スポットの基本操作や効果的な照射方法等を体得 します。 コンサート・舞台照明で使用される機材やライト	仮	15				0		0	0	0	0		
22	0			舞台照明基礎	コンサート・再台画明で使用される機材やフイト の吊り込み方法等、関わる作業のそれぞれを基礎 から体得します。 外部ホールでのルールやマナー、コミュニケーションカを鍛えながら、本業までの作業の落れを	ĦIJ	60				0	0		0	0			
23	0			習I	かmホールでのルールやマテー、コミューゲーション力を鍛えながら、本番までの作業の流れを 学びます。 他と比較して様々な制約が伴う屋外のロケーショ	1 後	60				0		0	0	0			
24		0		ロケーショ ン照明	他と比較して様々な制制が伴う屋外のロケーションにおける、灯りの作り方や効率的な照明方法を体得します。 ジャンルを問わない優れた映像作品の数々を、プ	1後	60				0	0			0			
25		0		芸術鑑賞	ロに近い目線で鑑賞。クリエイターの感性やセンスを磨きます。 間近に控えた就職活動に向けて、優れたエント	2後	60		0			0		0				
26	0			就職講座Ⅲ	同型に任えたが、映れる動に向けて、度れたエンド リーシート・優れた面接対応等、「内定を勝ち取る」術を体得します。 採用活動を行っている企業を招聘し話を伺い、求	ĦIJ	30		0			0		0				
27		0		フォローアップゼミ	は がある人材像を通して魅力ある自己表現の方法を学 びます	2 後	30		0			0		0				

28	C		校外学習Ⅱ	歌舞伎・演劇・ミュージカル・美術等を鑑賞。光 と演技・演出の関連性を学び、照明そのものへの 見識の幅を広げます。	2 前 後	30			0		0	0		
29	C	0	コンソール プログラミ ング II	ムービングライト等をコントロールするための専 用アプリケーションの操作方法や具体的で実践的 なプログラミング方法を学びます。	2 前	60			0	0			0	0
30	C)	コンソール プログラミ ングⅢ	「コンソールプログラミングⅡ」で習得した知識 や技術を基に、さらに高度なプログラミングとラ イティングプランの作成を目指しながら、理解度 を高めます。	2	60			0	0			0	0
31	C)	スキルアッ プゼミⅡ	学内イベントのスタッフを通して、番組制作における照明関連のスキルアップを図り、他セクションの仕事内容の理解を深めます。	2 前後	30			0	0		0		
32	C)	テレビ照明 実習Ⅱ	視聴者の感心を呼ぶ照明とは何か、番組や出演者 を引き立てる照明とは何か。これまでの実習を生 かしながら照明の完成度を高めます。	2 前後	150			0	0		0	0	0
33	O	0	ビジュアラ イザー基礎	ビジュアライザーソフト「L8」の設定・操作方法を習得し、コンサートライブ等におけるビジュアルデザイン技術を習得します。		15			0	0		0	0	
34	C)	舞台照明実習Ⅱ	ホールを使用した実習で、本番の経験を積みなから、2年次の実習授業として、チームワークや効率的な作業方法等を習得します。		150			0		0	0	0	
35	C)	番組制作演習	各学科連携して、情報教養・バラエティ・音楽 ジャンルの番組制作シミュレーションを通して、 番組制作全般への理解・チームワークと関連技術 の向上を目指します。	2	210		0		0		0		
36	C)	野 外 ラ イ ブ ゼミ	雨の中や暗闇の中など、環境に関わらない作業や 進行方法を理解しながら、2年次前半の実習として「学生が主体的に動く」実践授業です。	2 前	210		0			0	0		
37	C)	演劇照明演習	舞台上の俳優・演技と密接に絡み合う舞台照明の プランとそれに関わる作業について、演出的観点 も含めながら体得します。		210		0			0		0	0
38	C)	コンサート照明演習	スタンパイ・機材搬入・セッティング等、関連作業の更なる効率化を目指しながら、安全作業・意識とライティングの完成度を高めます。		210		0			0		0	
		1	合計	38	· 乖	目			1965	単	位(単位	z時 [引)

	卒業要件及び履修方法			
卒業要件: ①期日までの学者 ②必修科目を含む	度納入 3、年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定	1 学年の学期区分	2 期	
履修方法: 初回の授業(ガイ	「ダンス)で内容を確認し、期日までに履修科目の登録を行う	1 学期の授業期間	15 週	